

事業名	渡良瀬川クリーン運動協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	道路河川課		渡良瀬川クリーン運動協議会参画事業		款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	3	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	渡良瀬川クリーン運動協議会規則	事業期間	開始年度	H9	実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	渡良瀬川クリーン運動協議会に構成員として参加し、会費として負担金を支出する。協議会主催の会議に出席し、毎年 5 月に渡良瀬川一斉清掃を実施する。 ※渡良瀬川クリーン運動協議会とは、渡良瀬川流域の河川環境を確保することを目的とし、渡良瀬川河川事務所、群馬県・栃木県の出先機関、沿川市町、漁業組合を会員として構成する団体である。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	渡良瀬川一斉清掃に市民が参加することにより、河川環境保全の重要性が意識付けされ、河川環境を保全する活動が促進される。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
参加人数（市内）	人	400	400	400	400	400
ゴミ収集料（市内、2tトラック）	台	4	4	4	4	4

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 渡良瀬川クリーン運動協議会の会員として参画し、負担金を支出。毎年、5月に市内3箇所を会場に、渡良瀬川一斉清掃を実施。本年度は雨天により中止。 (渡良瀬川クリーン運動協議会の活動) 会議（1／年）を主催し、渡良瀬川一斉清掃を統括している。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
活動回数	回	1	2	2
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円	0	0	0
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	一斉清掃が中止となったため、渡良瀬川流域の河川環境の確保が図られなかった。
------------------	---------------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
参加人数（市内）	人	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない
ゴミ収集料（市内、2tトラック）	台	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 2指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本年度は雨天により活動が中止となった。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	とちぎ環境・みどり推進機構参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農山漁村地域整備				款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業期間	開始年度	S25	実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県内の市町や林業関係団体等が会員となって、県域の緑づくり・森づくり業務、林業労働力対策に取り組む団体として、森林の保全・整備事業や林業労働力の確保・育成事業などを実施している。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	緑づくりの普及啓発により森林を守り育て、またみどりを大切にするこ とへの理解の促進、市民協働による森づくりの推進。森林施業技術 習得への支援などを行うことにより、安定的な林業労働力の確保を 目的とする。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
里山林整備面積	ha	10	10	10	10	10

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	森林・山村多面的機能発揮対策の活動支援 申請団体 仙波の森を守る会 丸岳・里山再生協力会	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会員数	人	106	106	105
	森林・山村多面的機能発揮事業の情報の提供 『森林経営管理制度事業』等の研修会	事業費計	千円	62	61	61
		一般財源	千円	62	61	61
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	森林整備に関わる啓発活や理解促進により、森づくりを推進し、国 土の保全と林業基盤の整備を図るもので、地域の活動団体では、 里山林整備において市の負担額以上の作業を行っている。
----------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
里山林整備面積	ha	16	20	15	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

森林の持つ機能を市民に理解いただき、今後ますます高まる森林整備の必要性の啓発を行い、里山林の整備等を市民の参画や協働により進めていく。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	森林機能や森林整備についての周知を充実させる。

作成・更新日 令和6年8月9日

1. 基本情報

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

(2) 目的

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（３）活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

(5) 費用対効果結果 (自動判定)

※ 10万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
------	--

事業名	クビアカツヤカミキリ対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部			予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	環境政策課			クビアカツヤカミキリ対策事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	環境係					項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	612	名称		根拠法令、条例等	目	6	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		佐野市クビアカツヤカミキリ被害木伐採費補助金交付要綱、佐野市クビアカツヤカミキリ被害対策会議設置要綱	事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり			終了年度	—	事業分類	現金等給付事業	
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害に対し、防除用の薬剤やネットの貸出、また、被害木に対する伐採費等の補助を行う。 【補助内容】 被害木の伐採、運搬、処分費に対する補助。（営利法人以外） 支出金額×2/3（上限20万円）、（個人） 支出金額×2/3（上限10万円）
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策の強化
-------------------------	-----------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
被害樹木	本			799		
被害樹木伐採報告本数	本			259		
防除用の薬剤配付及びびネット貸出の申請	件			82	85	90
補助金交付申請件数	件			54	40	45

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	防除用の薬剤配付及びびネット貸出の申請の受理 被害木の伐採費等へ補助金交付申請の受理 広報さの、市HP、チラシによる注意喚起
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
防除用の薬剤配付及びびネット貸出の申請	件			82
補助金交付申請件数	件			54
事業費計	千円	0	0	11,424
一般財源	千円			6,616
特定財源（国・県・他）	千円			4,808
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策の必要性が理解され、被害樹木が減少する。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
被害樹木	本			799	値が小さいほど良い	効果が下がった
被害樹木伐採報告本数	本			259		
防除用の薬剤配付及びびネット貸出の申請	件			82		
補助金交付申請件数	件			54		

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害は県内においても拡大しており、早期発見と効果的な防除対策の強化が急務である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 補助率の拡充について検討する。
---	-----------------------------

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月2日

事業名	環境審議会運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	環境政策課				環境審議会運営事業	款	4	新規or継続	継続事業
	係	環境係					項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	環境基本法、佐野市環境基本条例	事業期間	開始年度	H6	実施方法	直営	
	政策	1	環境にやさしいまちづくり			終了年度	—	事業分類	審議会等運営事業	
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	環境基本法第44条および環境基本条例第24条に基づく審議会を設置し、環境基本計画に関すること等を調査審議する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	環境基本計画に関すること等を調査審議することにより、環境を保全し、環境行政の推進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		住んでいる地域が、快適で住みやすい地域であると思う市民	%	79.0	80.0	81.0	82.0	83.0

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	令和6年1月17日（水）、佐野市役所6階大会議室において、 会議を開催した。（委員14名）	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議の開催	回	1	1	1
		会議における審議事項数	件	4	3	2
		事業費計	千円	99	91	61
		一般財源	千円	99	91	61
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	住んでいる地域が、快適で住みやすい地域であると思う市民が増える。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		住んでいる地域が、快適で住みやすい地域であると思う市民	%	81.4	80.2	79.7	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標						
	効果が下がった指標数	1指標				○		
	指標全体		効果が下がった					
				費用	費用は下がった			
					費用の増減無し			
					費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

現状維持のため、特になし。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	森林環境学習事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	環境政策課		森林環境学習事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	環境係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	任意の事業
	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業期間	開始年度	H21	実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり			終了年度	－	事業分類	イベント等開催事業
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	森林観察会、生き物観察会等を開催する。
------	---------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し 上げたい 状態)	森林観察会、生き物観察会等を通して、森林の大切さや自然環境に対する意識高揚を図るとともに、その重要性・大切さを理解してもらう。
---------------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
講座の開催回数	回	2	2	5	5	5
自然環境が良好と考えている市民の割合	%	63.7	64.6	65.5	66.4	67.3

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	森林観察会、生き物観察会（ホテルの観察会、セミの羽化観察会、野鳥の観察会）を開催した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		森林観察会の参加者数	人	0	0	35
		生き物観察会の参加者数	人	38	45	90
		事業費計	千円	113	215	350
		一般財源	千円			
		特定財源（国・県・他）	千円	113	215	350
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	自然環境を大切にしたい心が育成される。
----------------------	---------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
講座の開催回数	回	2	2	4	値が大きいくらい良い	効果が上がった
自然環境が良好と考えている市民の割合	%	66.4	67.0	68.1	値が大きいくらい良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数				
	効果が下がった指標数				
	指標全体	効果が上がった			

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和 5 年度は、予定どおり森林観察会や生き物観察会を開催したが、令和 4 年度までコロナ禍で中止していたこともあり、参加者は定員に達しなかった。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 広報を強化する。
--	----------------------

事業名	森林等ナラ枯れ被害対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農山村振興課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業期間	開始年度	R 4	実施方法	一部委託
	政策	1	環境にやさしいまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	森林病虫害等防除法に基づき、令和 4 年度に新たに本市で発生が確認されたナラ枯れ被害に対して、まん延防止対策を実施する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	ナラ枯れ被害樹木に防除対策を実施し、健全で木材生産機能の高い森林を創出する
-------------------------	---------------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
対策樹木本数	本		42	60	60	50
市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	ナラ枯れまん延防止のため、被害が確認された樹木に対する防除対策を実施 葛生森林公園 8本 業務委託 唐沢山 4本 補助金（東京農工大学）
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
対策樹木本数	本		42	12
被害樹木本数	本		42	12
対策樹木本数/被害樹木本数	%		100	100
事業費計	千円	0	1,078	1,416
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円		1,078	1,416
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	被害の報告を受けた樹木について、適正な方法により処理することができた。
------------------	-------------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
対策樹木本数	ha		42	12	値が小さいほど良い	効果が上がった
市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	
効果が上がった指標数	2指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和 4 年度からナラ枯れ被害樹木の防除対策を継続して行っているが、令和 5 年度は対策が必要な樹木が減少した。ナラ枯れ対策は栃木県と連携した取り組みが必要であることから、市内公共施設における被害状況の把握し適切な処理を行い、市内及び県内へのまん延防止対策を行う。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） 取組説明 栃木県の対策方針及び、市内の被害状況の把握と情報共有を行い対策を継続する。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月2日

事業名	佐野市渡良瀬川にサケを放す会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	環境政策課		佐野市渡良瀬川にサケを放す会支援事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	環境係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	任意の事業
	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業期間	開始年度	S62	実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり			終了年度	－	事業分類	支援事業
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市渡良瀬川にサケを放す会に補助金を交付し、サケの稚魚の一斉放流活動を支援している。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市渡良瀬川にサケを放す会の活動を通して、自然保護活動と環境学習を推進する。具体的には、渡良瀬川の浄化を目指すとともに、サケを育て観察し触れ合うことをとおし、生き物を育てる心を養い、自然を愛し、親しみ、守ることの意識の向上を図る。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
自然環境が良好と考えている市民の割合	%	63.7	64.6	65.5	66.4	67.3

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	佐野市渡良瀬川にサケを放す会に補助金を交付した。 (佐野市渡良瀬川にサケを放す会は、サケの卵を配布し、サケの稚魚を放流した。)
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
サケの卵の配布回数	回	1	1	1
サケの稚魚の配布回数	回	1	1	1
事業費計	千円	28	28	28
一般財源	千円	28	28	28
特定財源（国・県・他）	千円			
(うち受益者負担)	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	豊かな自然環境が保全、再生されている。
------------------	---------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
自然環境が良好と考えている市民の割合	%	66.4	67.3	68.1	値が大きいくほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

近年、サケの遡上が少なくなっている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

事業名	保安林伐採許可等事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計		事業計画	単年度繰返し
	課	農山村振興課				款		新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	義務的事業
	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業期間	開始年度		実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり			終了年度		事業分類	許認可・審査事務
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						
				森林法					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	森林の多様な公益的機能の維持増進のため、森林法では伐採及び伐採後の造林が適正に行われるように、森林の伐採や土地の形質変更をする際、届出又は許可申請をすることとなっている。 ○森林法に基づく届け出及び許可 【普通林】…森林法第10条の8、15条 【保安林】…森林法第34条第1項、第2項
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	伐採等を制限し、健全な森林資源及び森林機能の維持増進を図る。
-------------------------	--------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
間伐実施面積（単年度）	ha	609	270	345	420	495

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	森林法に基づく森林の伐採等の届出及び許可事務 ※森林経営計画に伴う届出を除く ・普通林 … 届出10件 ・保安林 … 伐採許可 8件、形質変更許可 7件、伐採協議 1件、形質変更協議 0件、その他(間伐等)の届出 7件
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
伐採等の届出件数	件	92	58	33
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	水を育んだり、土砂崩れなどの災害を防いだり、美しい景観や保健 休養などの場を提供する重要な保安林の機能の維持に成果がみられる。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
間伐実施面積（単年度）	ha	343	285	294	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		※ 1 0 万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

伐採時における届出事務及び指導を適正に行うとともに、森林法や森林の持つ多面的機能の周知や啓発活動をより行うことが重要である。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	明るく安全な里山林の整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-④	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業期間	開始年度	H20	実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	とちぎの元気な森づくり県民税事業を財源として、森づくり団体が事業主体となって里山林を再生させる森林整備事業を実施する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	里山林の持つ景観保全機能や自然とのふれあい機能の向上、農作物の野生獣被害軽減を図る
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
里山林の整備面積	ha	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	里山林管理事業：交付期間満了分 森林・山村多面的機能発揮対策事業	16団体	99.1ha
		2団体	14.9ha

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
申請団体数	団体	18	17	16
事業費計	千円	5,685	5,489	5,223
一般財源	千円	490	354	268
特定財源（国・県・他）	千円	5,195	5,135	4,955
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	整備面積が減少傾向にあるが、地域の自主的な協力により、自然環境・環境保全・景観の維持などの多様な効果が表れている。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
里山林の整備面積	ha	104	103	99	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

近年、有害鳥獣の出現数が増加している。里山林の整備を行うことで、その対策につながることから地域住民の理解と協力により活動の充実を図る。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	森林の有する機能や役割についての啓発や、事業の周知を充実させ活動団体の増加を検討する。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	佐野市河川愛護会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	道路河川課		款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係		項	3	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意
	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	事業期間	開始年度	H17	実施方法
	政策	1	環境にやさしいまちづくり		終了年度		事業分類
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全				支援事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市河川愛護会に補助金を支出して支援する。
------	------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市河川愛護会を支援することにより、参加団体（町会）による自主的な河川環境保全活動を促進する。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
愛護会活動実施延長	km	151	151	151	151	151

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動)
	佐野市河川愛護会に補助金を支出し、愛護会活動を支援する。
	(佐野市河川愛護会の活動)
	じむきょく：清掃用のゴミ袋配布、ゴミの収集、支部の計画書・実績報告書のとりまとめ、上部団体である栃木県道路河川愛護会連合会への報告。
	支部：清掃活動（年1～3回）
	新型コロナ流行の影響で、活動団体が減ったため、令和5年度は予算を減額した。
	今後の活動状況により予算を編成していく。

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
主な普通河川の延長	km	86	86	86
事業費計	千円	470	470	170
一般財源	千円	470	470	170
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市内の河川の維持保全を期するため、自主的な河川愛護活動の促進が図られている。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
愛護会活動実施延長	km	86	86	86	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新型コロナによる自粛期間が明けて、参加団体が増加した。報告書のとりまとめを速やかに行い、適切に補助金を交付していくことが課題である。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	①愛護活動参加団体への活動予定表の送付、受け取り ②愛護活動参加団体への実績表の送付、受け取り ③実績表の集計、補助金額の割り振り ④補助金の支給